

株式会社コプロス（建設業）／山口県下関市

企業概要（URL）

<https://copros.co.jp/>

事業概要

土木事業、建築事業、ケコム事業、再生可能エネルギー事業を展開し、顧客視点の新たな価値を創出する「メーカー型建設業」として、地域社会の発展への貢献を目指している。

資本金

90百万円

従業員数

124名

代表者

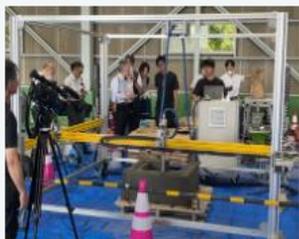
宮崎 薫



DXの取組プロジェクト等

- コプロスはDX戦略として、3つの重点領域を設定。
 - (1)建設生産プロセスの変革**
BIM/CIM、XR、ドローン、ICT建機等の最先端システムの活用
 - (2)データの活かし方の変革**
データ蓄積、BIによるデータ可視化、AI活用による判断高度化
 - (3)人材確保の取組の変革**
SNSによる情報発信の強化
- DX戦略(1)「建設生産プロセスの変革」においては、建設現場で培った3次元データの測量、作成、施工管理のスキルを活かし、外部事業者へのサービス提供という新規ビジネスモデルを創出。

<3Dプリンター>



<スキル評価BI>



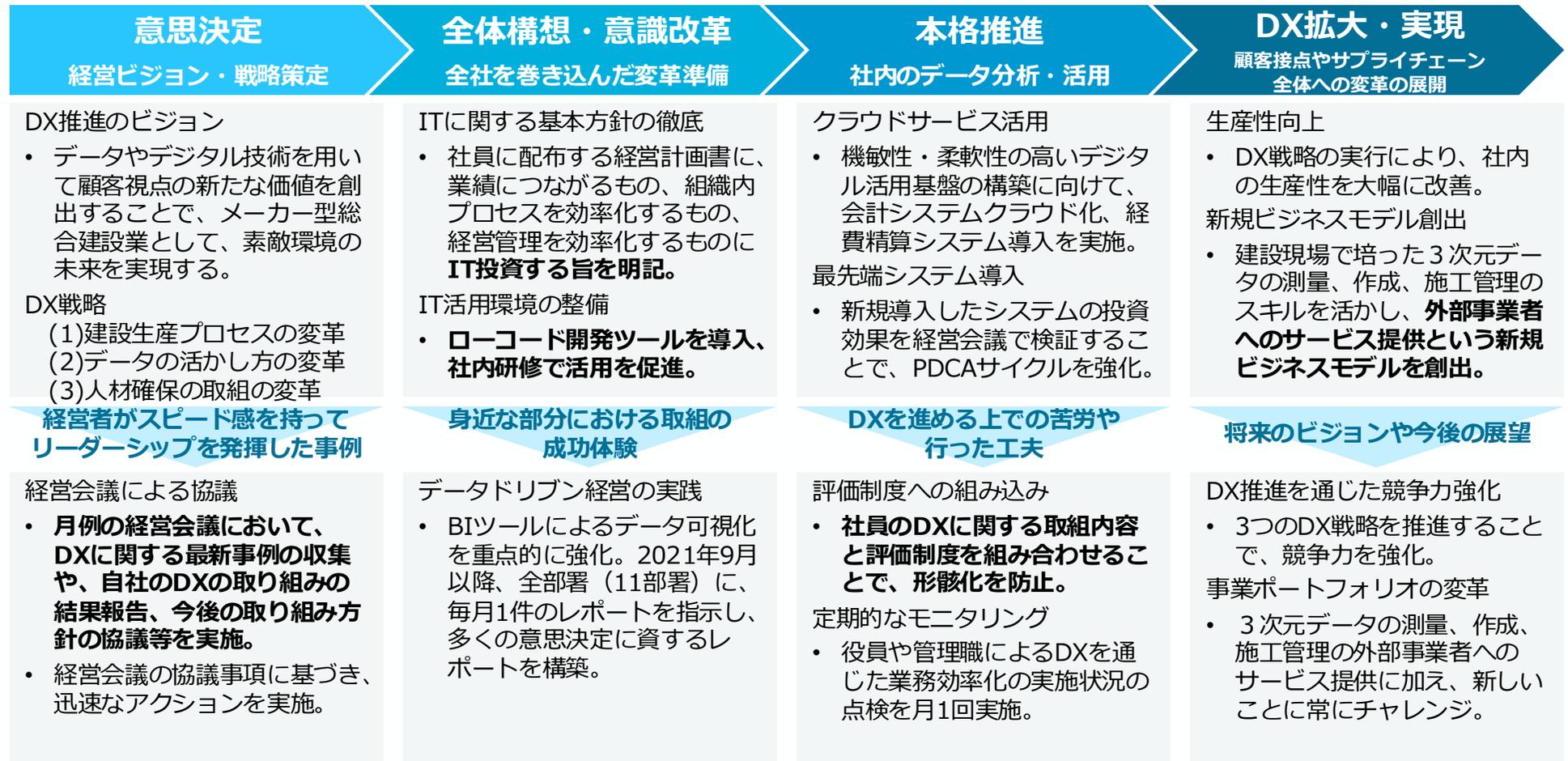
<YouTubeチャンネル>



DX推進の成果

- 3つのDX戦略の推進等により1名当たりの営業利益が8倍超に増加。
- 3つの重点領域別の成果は以下のとおり。
 - (1)建設生産プロセスの変革**
工事成績ランキング1位（令和6年度 中国地方整備局）
中国インフラDX表彰受賞（令和6年度 中国地方整備局）
 - (2)データの活かし方の変革**
自社独自システム（日報管理アプリ、スキル評価BI等）内製化
印刷枚数27%削減（2022年6月分と2024年6月分を比較）
 - (3)人材確保の取組の変革**
SNS経由求人応募者数増加（2023年123人→2024年268人）
- 新規ビジネスモデル創出（外部事業者への高度建設生産プロセスの提供）による効果は以下のとおり。
 - 新たな収益源の創出（将来的に利益全体の10%程度を目指す）
 - 建設業界全体の課題解決（生産性向上、技術継承簡略化）
 - 当社社員の様々な経験と新たな勤務のあり方の提供
 - 先端技術の活用による採用活動に好影響
 - スキル高度化による既存事業への業務効率化の波及

DX実現に向けたプロセス



DX推進体制（人材の育成・確保の取組／外部の支援機関等の活用）

- 同業者と共同で研修を開催することで、社員の知見を広める取り組みを実施。
- 情報処理技術者試験及び情報処理安全確保支援士試験を社内の推奨資格に設定し、取得者には報奨金を支給。
- 役員や管理職がDXに対する意識を改革するためにDX研修を受講。
- ICT建機等の最先端システムを活用する企業、建設DX分野のスタートアップ企業、外部アドバイザー等を活用し、外部の知見を取り込み。